

営農技術情報

発行 令和2年4月22日

第4号

たいせつ農業協同組合
営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

◆週間天気予報では悪天候の日が多いです。地域内でも春作業の進度にバラつきがありますが、ハウスでの育苗管理が今後の生育・品質を決める非常に重要な要素となります。徹底した温度管理・灌水管理により、健苗育成に努めましょう。(「営農技術情報 第4号」と合わせてご確認ください。)

日付	4月23日 (木)	4月24日 (金)	4月25日 (土)	4月26日 (日)	4月27日 (月)	4月28日 (火)
天気	曇一時雨	曇り	曇り	曇一時雨	曇時々晴	曇時々晴
気温 (℃)	8 2	9 -1	10 -1	11 -1	12 -1	14 0
降水 確率 (%)	50	40	40	50	30	30

《は種直後管理のポイント》

育苗期間	出芽揃~1.5葉期	1.5葉期~3.0葉期
適温	20~25℃	20℃
換気温度	25℃以上	20℃以上
温度測定	葉先近く	
灌水のポイント	・早朝、葉先に水滴がなくなったとき ・日中に葉身の展開が悪くなったとき	
二重トンネル	夜間使用(夜温を10℃以上に保つ)	基本使用しない(霜害対策で使用)

Check

- 温度計は生育状況に合わせて図のように設置しているか。
- 出芽~1.5葉期までは、苗の育っている場所の温度が10℃以下にならないよう、二重トンネルなどで保温しているか。
- 過度の灌水は立枯病や各種病害が発生しやすくなりますので、一回の灌水量は500~1,000ml/箱を目安に実施しているか。

※シルバーポリは、色あせや劣化による破れがないか確認し、遮光・保温性が十分に確保できるものを使用しましょう。

◆水田管理について

- ①耕起作業は圃場が十分乾燥してから実施し、初期生育を向上させましょう。
- ②畔塗機で畦畔補修を実施し、水田の漏水防止に努めましょう。
- ③施肥は土壌診断に基づいた適正量とし、多肥栽培は避けましょう。

◆「余り種子」が出ましたら、ご連絡をお願いします!

例年同様に播種後、余り種子が出ましたら、農産販売課(57-2357)までご連絡頂きますよう、ご協力お願い致します。

※2~3日JAより引取りの連絡がない場合、処分して頂いて構いません。



◆農作業事故には十分注意を払いましょう!

作業時は無理のない運転・作業に努めて、農作業事故ゼロに向け、計画的な作業と休息を間に取り、ゆとりを持って作業に当たしましょう。また、もし事故が発生した場合に備え、作業時は必ず携帯電話を携帯していつでも連絡が取れるようにしておきましょう。